
1. 寄稿

MM 教育の実践ツールとしての「交通すごろく」

【一般社団法人北海道開発技術センター 調査研究部
上席研究員 大井元揮】

私のこれまでの MM 教育の経験としては、札幌市での「札幌らしい交通環境学習」の支援、当別町、恵庭市、旭川市、帯広市等での出前講座の実施、交通すごろくの企画・制作などに関わらせていただきました。

札幌市での MM 教育については、本メールマガジン（第 6 号・第 13 号・第 20 号・第 27 号）においても「教諭自らが実践する好事例」として紹介されていますので、本稿では、「交通すごろく」について、ご紹介させていただきます。

当センターで企画・制作した「交通すごろく」の最大の特徴としては、「ゴールした順位（早ければ良い）」と「排出した CO2 量（少なければ良い）」の両方の順位から、総合的な順位を決定するものです。

すごろくですので、スタート地点からゴールを目指すものですが、ルールとしては、サイコロを振る前に、毎回、自分が利用する交通手段を選択し、そのカードを引きます。カードは、自動車、バス、鉄道、徒歩 など、その地域に実在する交通機関を用意し、さらに、カード毎に、「自動車はサイコロを 3 個振ることができ、CO2 排出量は 10kg」、「バスはサイコロを 2 個振ることができ、CO2 排出量は 3 kg」、「鉄道はサイコロを 1 個振ることができ、CO2 排出量は 1 kg、線路を進める」、「徒歩はサイコロを 1 個振ることができ、CO2 排出量は 0 kg」といった特性を持たせています。

つまり、自動車ばかりを使って、ゴールを目指すと、仮に早く到着したとしても、最終的に CO2 排出量が多くなり、1 位にはなれないといったこととなり、移動の速さや利便性と環境負荷との間に生じるジレンマを体験することが可能となります。

この交通すごろくを用いて、学校や地域イベント等で、実践したところ、子どもからは、「色々考えながらゴールを目指すので、面白い」、保護者からは、「自分の住んでいるまちの交通や施設等を学べて勉強になる」、教諭からは、「交通と環境の関係を学ぶ上で分かりやすいツール」といった評価をいただきました。

すごろくマップは対象とする地域毎で、オーダーメイドでの作成となりますが、オーダーメイドだからこそ、公共交通や環境に対しての教育効果が高いツールであると感じます。

もし、ご興味の方がおられましたら、これまで作成した資料等をご提供させていただきますので、ご連絡いただくと幸いです。

※本寄稿は、下記 URL からファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga29.pdf

2. 交通環境学習の取り組み

(1) 交通環境学習開催のお知らせ

- 群馬県の渋川市交通政策課は、市内の路線バス利用者が、人口減少などの社会情勢の変化や自家用車の普及などにより、ゆるやかに減少傾向にあるため、平成30年度に「出前講座方式」「連携開催方式」「参加申し込み方式」の3方式でバス乗り方教室を開催している。10月27日には「バスに乗って伊香保温泉へ行こう！～バスの乗り方を勉強しながら小旅行～」を市民向けに開催する。

<http://www.city.shibukawa.lg.jp/kurashi/koutsuu/koukyoukoutsuu/p005957.html>

(2) 交通環境学習開催報告

(関東)

- 埼玉県の日高市はひ・まわり探検隊事業の一環として、8月15日は国際興業の協力のもと小学生26人を対象に、8月16日にはイーグルバスの協力のもと小学生31人を対象に、バスの乗り方教室を実施。

http://www.city.hidaka.lg.jp/life_procedure/1/5/3241.html

- 山梨県の駿河台甲府小学校2年生は9月19日、山梨交通バス事業部の協力のもと路線バス、ボンネットバス、高速バスを使ってバス出前授業を実施。児童からは「はじめて乗り方を知ったから、今度自分でも乗ってみたいな」「いつも学校までバスで来ているからバスは慣れているけど、もっと詳しくなれて良かった」「高速バスに乗って説明を聞いたとき、すごくワクワクしました」などの意見が出た。

<https://www.sundai-kofu.ed.jp/elementary/17241/>

- 埼玉県の小川町立明倫小学校の1、2年生は生活科で、10月9日に富士急行の協力のもと、バスの乗り方教室を実施。児童は運賃の支払い方法や車いすシートや優先座席などについて学んだ。

<http://www.fuji-oyama.jp/cgi-bin/schoolhp/02meiri/index.cgi?page=10>

(北陸信越)

- 長野県の中野市立中野小学校は9月21日にバスの乗り方教室を実施。整理券の取り方や電子料金表の見方、運賃の支払い方法について学んだ。

http://nakano.nakano-ngn.ed.jp/2018_10_05_4916.html

■長野県の長野市立保科小学校の2年生は9月26日、10月5日の乗り物遠足に合わせて、バスの乗り方教室を実施。路線バスに乗ったことのある児童は少ない状況だった。バス会社からバスの車両の説明、路線バスの乗り方、警察から安全について学んだ。

<http://www.nagano-ngn.ed.jp/hoshinjs/>

(中国)

■島根県の備北交通は10月5日、邑智郡美郷町立大和小学校の1、2年生を対象にバスの乗り方教室を実施。バスのマナーについてのDVDを鑑賞後、広島県の交通系ICカードPASPY（パスピー）を利用してバスに体験乗車。運賃の見方や乗車中の注意なども学んだ。

<http://bihoku.co.jp/info/%E5%B3%B6%E6%A0%B9%E7%9C%8D%E7%B8%8E%E9%83%B7%E7%94%BA%E3%80%8D%E5%AD%A7%E5%92%8D%E5%B0%8F%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%80%8D%E3%B1%AB%E3%B1%AB%E3%B3%90%E3%82%B9%E3%B1%AE%E4%B9%B7%E3%82%BA%E6%96%B9%E6%95%99/>

(四国)

■高知県の土佐くろしお鉄道は8月4日に第1回乗り方教室を実施。きっぷの購入体験、列車への乗車、車両検修庫の見学などを行った。

<https://www.tosakuro.com/single-post/2018/08/08/%E5%88%97%E8%BB%8A%E4%B9%97%E3%82%8A%E6%96%B9%E6%95%99%E5%AE%A4%E7%BC%96%E9%89%84%E9%81%93%E3%B1%8A%E4%BB%95%E4%BA%8B%E4%BD%93%E9%A8%93>

3. ニュース/トピック

■ちくてつ電車まつり2018

福岡県の筑豊電気鉄道は11月17日と18日に、黒崎車両工場で、ちくてつ電車まつり2018を開催。鉄道車両の展示、ミニ電車の運行、鉄道部品・オリジナルグッズの販売、ステージイベントなどを企画している。

http://www.nishitetsu.co.jp/release/2018/18_105.pdf

■夏休み静鉄電車ワンデーパスの販売

静岡鉄道は7月21日から8月19日まで「夏休み静鉄電車ワンデーパス」を販売。夏休み期間中、小学生・中学生・高校生に1日乗り放題となり、フェリーの乗車運賃割引や買い物での割引などの優待が受けられる乗車券を販売した。またプレミアムフライデーである7月27日（金）には、大人向け（大学生以上）のワンデーパスも販売された。

<https://www.shizutetsu.co.jp/pdfs/180721%E5%A4%8F%E4%BC%91%E3%81%B1%E3%83%AF%E3%83%B3%E3%83%87%E3%83%BC%E3%83%91%E3%82%B9%E8%B2%A9%E5%A3%B2%E3%81%AE%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B.pdf>

■茨城交通、夏休み小児特別運賃

茨城県の茨城交通は小学校の長期休暇中（7月22日から8月31日）に、小児運賃を最大100円とする特別運賃を実施。小学生に気軽にバスに乗ってもらい公共交通でのマナーなどを体験してもらうことが目的。

<http://www.ibako.co.jp/contents/newsrelease/2018/07/17584.html>

■堺市、ペーパークラフトでバスの乗り方を学ぶ

大阪府の堺市は8月3日と7日に堺市の小学生を対象に「ペーパークラフトでバスの乗り方を学ぼう」を開催。ペーパークラフトバスはペットボトルのフタをタイヤに使用し、バスの後面に仕込まれた磁石とバス停標柱の磁石との反発を利用して動かせるようになっている。

http://www.city.sakai.lg.jp/smph/shisei/toshi/kokyokotsu/bus_riyo/papercraft/df_filename_20180813131253560.html

■西日本ジェイアールバス、営業所バスまつりを開催

西日本ジェイアールバスは会社発足30周年を迎えるにあたり10月27日に近江今津営業所、28日には梅津営業所主催の記念イベント「営業所バスまつり」を開催。車両の展示や記念撮影、バス洗車体験、路線バス方体験などを実施予定。

<https://www.nishinihonjrbus.co.jp/news/8232/>

■南海電車まつり2018

南海電鉄は10月27日に鉄道の日記念行事として、大阪府の千代田工場で実施。めでたいでんしゃ車内見学会、工場探検、子ども車掌体験、車内避難誘導体験を実施予定。

<http://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/180919.pdf>

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2018

日時：2018年10月27日（土）、28日（日）

場所：東洋大学白山キャンパス

主催：くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<https://zenkokuforum.jimdo.com/>

●金沢市交通まちづくり市民フォーラム

日時：2018年11月3日（土） 13:30～16:30

場所：金沢学生のまち市民交流館

主催：金沢市

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/25621/6/forum.pdf>

●TRANSED2018（第15回高齢者と障害者のモビリティと交通に関する国際会議）

日時：2018年11月12日（月）～15日（木）

場所：台北国際コンベンションセンター（TICC） 台北市

主催：エデン社会福祉財団（Eden Social Welfare Foundation）（台湾）

<http://www.transed2018.com/>

●第38回EST創発セミナーin京都〔近畿〕

日時：2018年11月22日（木） 13:30～16:40

場所：みやづ歴史の館2階「文化ホール」

主催：京都府、国土交通省近畿運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu51.html>

●エコプロダクツ2018

日時：2018年12月6日（木）～8日（土） 10:00～17:00

場所：東京ビッグサイト 東ホール

主催：（一社）産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2018/>

●ECOMM 2019（第23回欧州モビリティ・マネジメント会議）

日時：2019年5月29日～6月1日

場所：スコットランド エジンバラ

主催：EPOMM（欧州モビリティ・マネジメント・プラットフォーム）

<http://www.epomm.eu/index.php?id=2814>

